

報告事項

- (1) 東京 2020 オリンピック聖火リレーについて . . . P 1
- (2) おかやまマラソンについて P 2
- (3) 平成 31 年度中国地区スポーツ推進委員研修会の
開催について P 13

(1) 東京 2020 オリンピック聖火リレーについて

「Hope Lights Our Way -希望の道を、つなごう。-」をコンセプトに、ランナーだけでなく、沿道で見守る人、携わるスタッフなどすべての人々が主役になり、大会を盛り上げる聖火リレーを目指す。

1 実施日程

2020年3月26日(木) 福島県～7月24日(金) 東京都【総日数121日間】

※岡山県内は、5月20日(水)～21日(木)の2日間

2 ルートの選定

現在、大会組織委員会において、各都道府県が提出したルート案を検討中。今後、国際オリンピック委員会の承認を経て、今年夏頃に決定、公表される予定。

(1) 条件等

- ・1都道府県2日間(1日6区間程度)(東京都、福島県等一部を除く)
- ・走行距離約200m/人
- ・ランナー約80～90人/日

(2) 岡山県内のルート案について

実施を希望する市町村から提出されたルート案を、県実行委員会(県、市長会、町村長会、県体育協会等で構成)で検討した。

3 ランナーの募集・選考

ルートの公表後に、募集を開始する予定。

選考基準や方法については、今後、大会組織委員会から公表されるが、開かれたリレーとなるよう、国籍、障害の有無、性別、年齢のバランスに配慮しながら、幅広い分野から選定することとされている。

(2) おかやまマラソンについて

去る2月5日、おかやまマラソン実行委員会平成30年度第3回総会を開催し、「おかやまマラソン 2018 の開催結果」について報告するとともに、「おかやまマラソン 2019 の概要」などについて決定するなど、本年11月10日に開催予定の2019大会に向けた準備を進めている。

1 おかやまマラソン 2018 の開催結果 (別添)

ランナーへのアンケート調査では、「コースの走りやすさ」、「沿道応援」など全ての項目で「大変満足」と「まずまず満足」を合わせた割合が7割以上となっており、引き続き、高い評価をいただいた。

また、経済波及効果額は15.8億円(第3回大会:14.7億円)と推計した。

2 おかやまマラソン 2019 の大会概要

大会名称	おかやまマラソン 2019
開催日時	2019.11.10(日) 8:45 スタート
種目・コース	マラソン (42.195km:日本陸上競技連盟公認) ファンラン (5.6km) [スタート] ジップアリーナ岡山前 [フィニッシュ] シティライトスタジアム
制限時間	マラソン 6時間 (41.6km 地点) ファンラン 1時間 (5.0km 地点)
定員	マラソン 15,000 人 【岡山市民県民優先枠】 2,000 人 【一般枠】 13,000 人 ※マラソンの一般枠のうち <u>250 人</u> を海外枠とする。 ファンラン <u>1,400 人</u> 【一般枠】 <u>1,400 人</u> ※ファンランの一般枠のうち 50 人を海外枠とする。
募集期間	【岡山市民県民優先枠】 4/10(水)~4/17(水) 予定 【一般枠・海外枠】 4/18(木)~5/20(月) 予定 ※定員を超えた場合は抽選を行う。ただし、海外枠は先着順とする。

※下線部は 2018 大会からの変更点

3 スペシャルアンバサダー・アンバサダー

引き続き、有森裕子さんにスペシャルアンバサダー、山口衛里さんにアンバサダーとして、大会の盛り上げに協力いただくこととした。

4 今後の予定

月 日	行 事 ・ 内 容 等
H31.2.5	実行委員会 平成 30 年度第 3 回総会
3 月	実行委員会 平成 30 年度第 4 回総会 (3/22 予定)
4 月	ランナー募集開始 (優先枠 4/10～、一般枠・海外枠 4/18～予定)
5 月	ボランティア募集開始 実行委員会 2019 年度第 1 回総会
8 月頃	ボランティア参加通知・説明会お知らせ
9 月頃	交通規制広報開始 ボランティアリーダー説明会
10 月頃	実行委員会 2019 年度第 2 回総会 参加ランナー案内通知 個人ボランティア説明会
11.9	おかやまマラソン EXP02019 開催 (岡山県総合グラウンド内:～11.10) ランナー受付
11.10	おかやまマラソン 2019 開催

おかやまマラソン 2018 の開催結果について

平成 30 年 11 月 11 日(日)に開催したおかやまマラソン 2018 の参加者を対象としたアンケート調査結果をとりまとめるとともに、それを基に経済波及効果を推計した。

1 参加者の概要

(1) ランナー

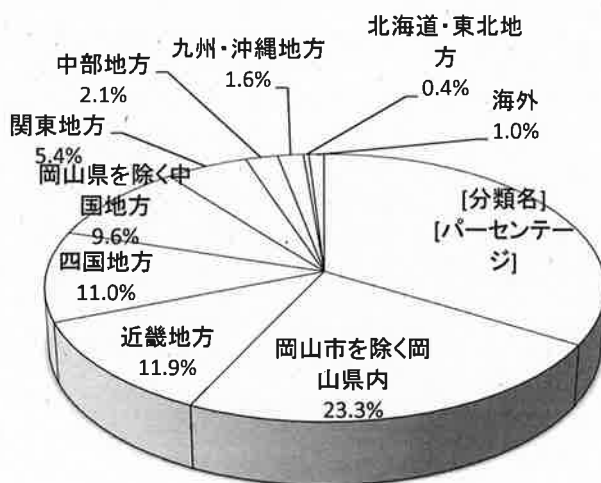
① 出走者数等

種 目	定 員	申込者数	出走者数	完走者数	完走率
マラソン (42.195km)	15,000 人 (15,000 人)	28,222 人 (26,229 人)	15,315 人 (14,894 人)	13,724 人 (13,602 人)	89.6% (91.3%)
ファンラン (5.6km)	1,300 人 (1,200 人)	4,389 人 (4,152 人)	1,232 人 (1,243 人)	—	—
合 計	16,300 人 (16,200 人)	32,611 人 (30,381 人)	16,547 人 (16,137 人)	—	—

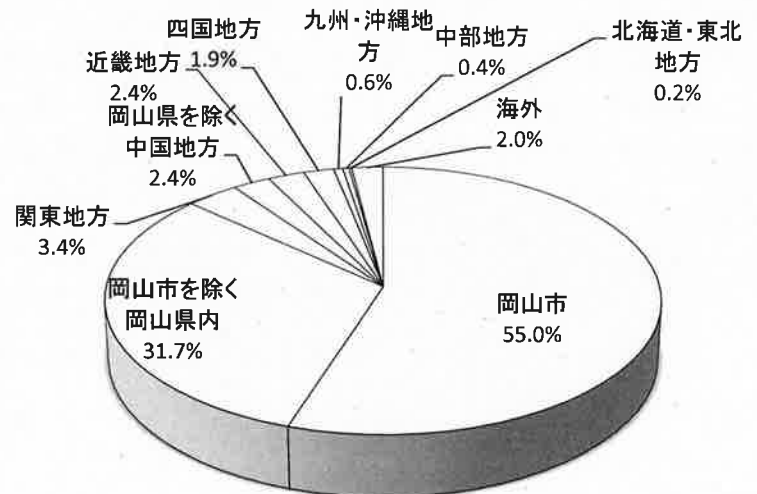
※表中上段は 2018 大会、下段括弧内は 2017 大会の数値（以下同様）

② 出走者の居住地別割合

ア マラソン



イ ファンラン



※海外参加者

- ・ マラソン・・・マレーシア、台湾、香港、マカオ、米国、英国
- ・ ファンラン・・・マレーシア、台湾、香港、マカオ

(2) 沿道応援者・来場者

項 目	11/10(土)	11/11(日)	合 計
沿道応援者数	—	164 千人 (160 千人)	164 千人 (160 千人)
E X P O 来場者数	57 千人 (54 千人)	84 千人 (82 千人)	141 千人 (136 千人)
合 計	57 千人 (54 千人)	248 千人 (242 千人)	305 千人 (296 千人)

(3) ボランティア

項 目	11/9(金)	11/10(土)	11/11(日)	合 計
参加者数(延人数)	151 人 (146 人)	554 人 (570 人)	4,496 人 (4,396 人)	5,201 人 (5,112 人)

※参加人数(実人数) 4,886 人 (2017 大会 4,929 人)

2 アンケート調査結果

(1) 調査の概要

2018 大会に参加した国内ランナー、ボランティア及び応援者等を対象として、アンケート調査を実施し、参加者の満足度や意見、支出額等を把握する。

また、アンケートによる意見から大会の運営等に関する課題を抽出し、2019 大会準備の参考とする。

なお、海外ランナーについては、受付時において、立寄り観光地等に関するアンケートを別途実施した。

(2) 調査方法等

① 調査対象及び調査票の配布方法

調査対象	調査票の配布
ランナー	大会前日の受付時に配布
ボランティア	事前に実施した説明会時に配布
応援者等	大会前日・当日に職員が主会場・沿道で配布

② 回答受付期間

平成 30 年 11 月 11 日(日)から 11 月 30 日(金)の 20 日間

③ 回答方法及び有効回答数

(単位:人)

調査対象	インターネット	ファックス	郵便・持参	計
ランナー	1,374	127	32	1,533
ボランティア	162	91	94	347
応援者等	142	37	6	185
合 計	1,678	255	132	2,065

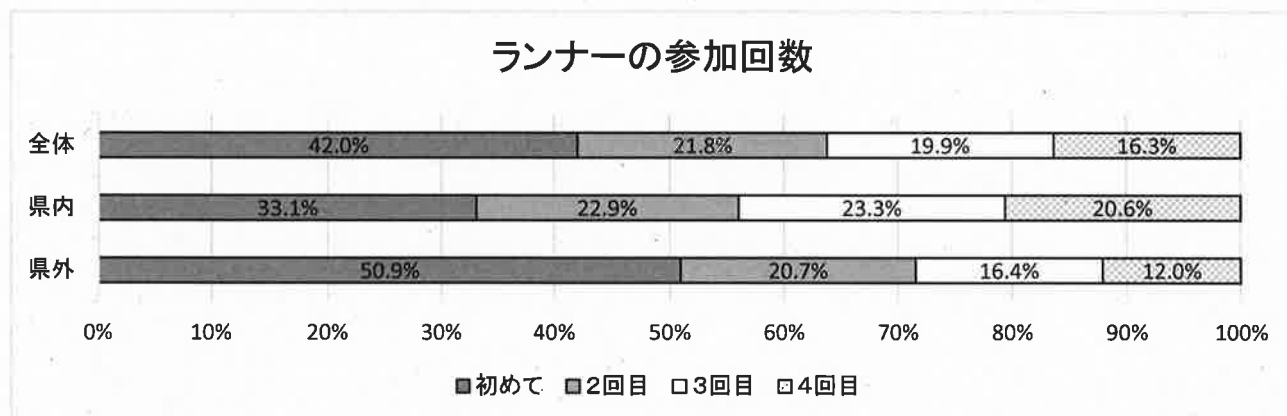
(3) 調査結果

① ランナー

ア ランナーの参加回数

全体では 42.0%のランナーが初めての参加であった。

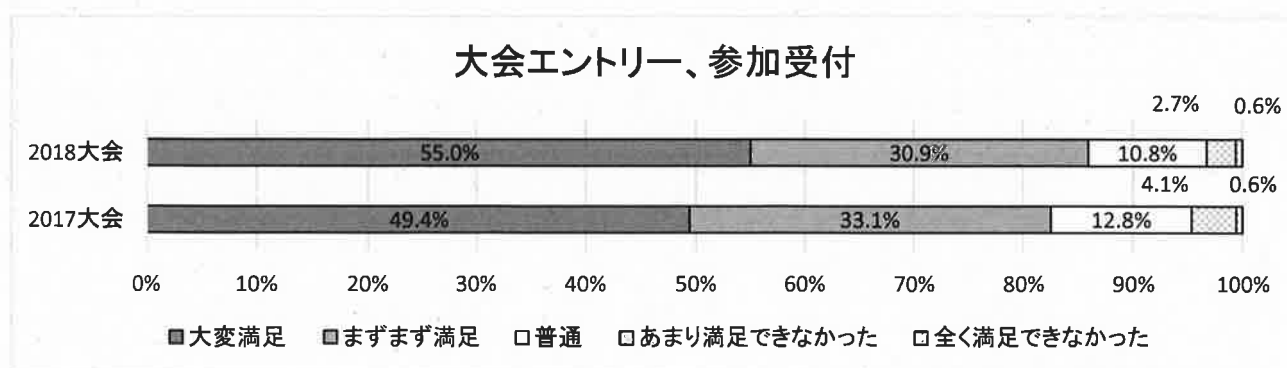
県内参加者は 6 割以上が 2 回目以上の参加であったが、県外参加者はほぼ半数の方が初めての参加であった。



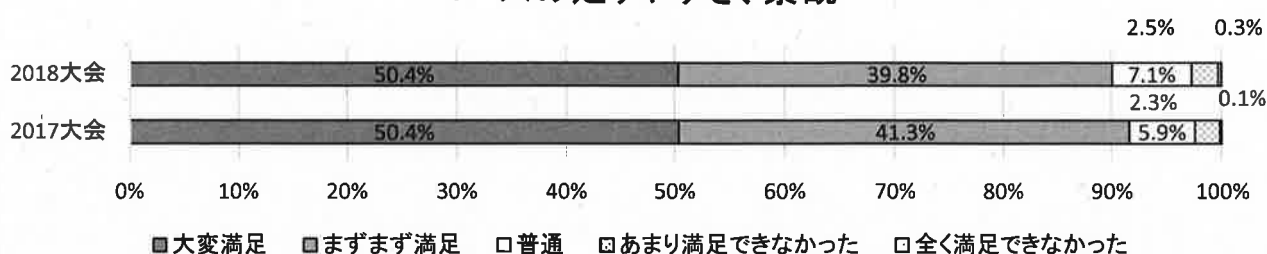
イ ランナーの評価

全ての調査項目で「大変満足」と「まずまず満足」を合わせた割合が 7 割以上となっており、引き続き、高い水準を維持している。

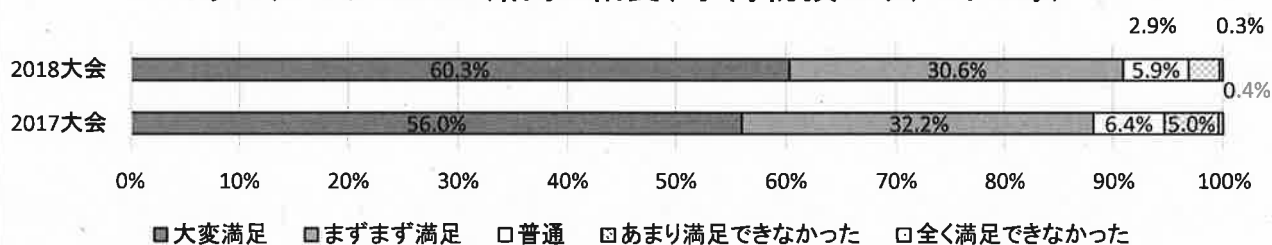
中でも「コースの走りやすさ、景観」、「ランナーサービス」、「沿道応援」、「ボランティアの対応」の 4 項目は 9 割以上の方から「大変満足」、「まずまず満足」との高評価をいただいた。



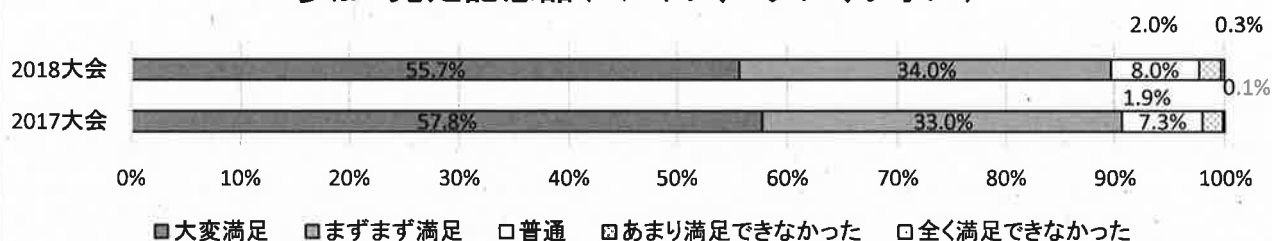
コースの走りやすさ、景観



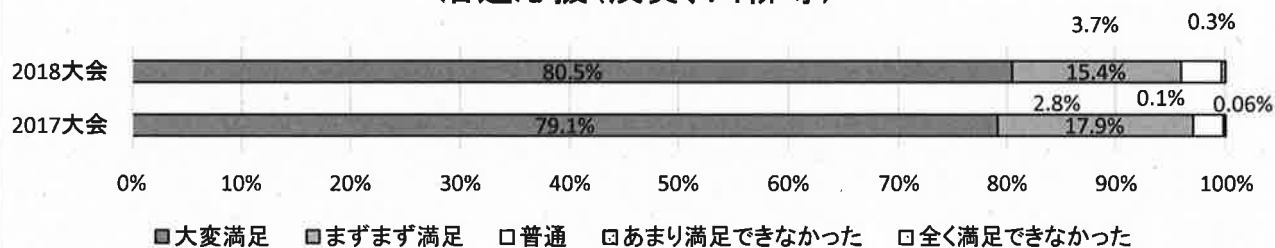
ランナーサービス(給水・給食、手荷物預かり、トイレ等)



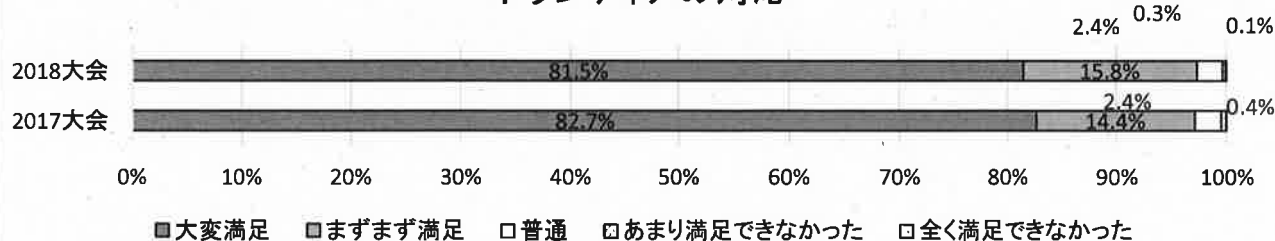
参加・完走記念品(Tシャツ、メダル、タオル)



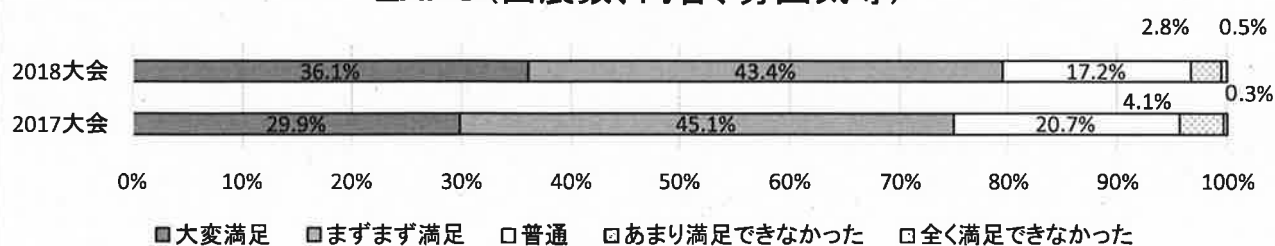
沿道応援(演奏、川柳等)



ボランティアの対応



EXPO(出展数、内容、雰囲気等)

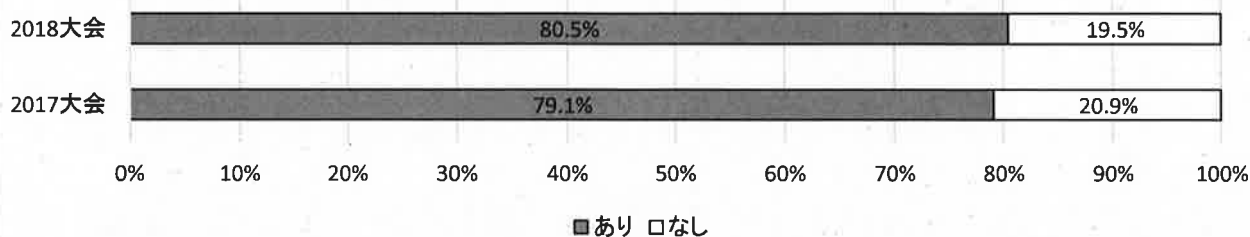


ウ 宿泊、観光地への立ち寄り(県外参加者)

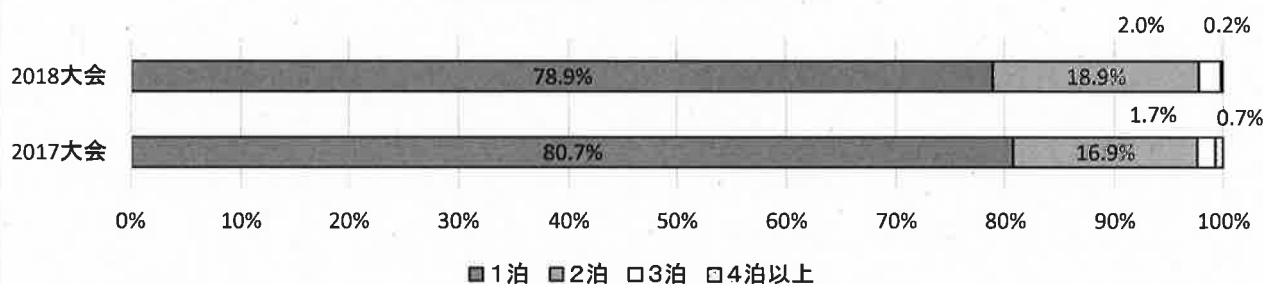
県外参加者の約8割の方が宿泊しており、そのうち1泊が78.9%、2泊以上が21.1%であった。また、宿泊地は岡山市内が76.7%であった。

県内観光に立ち寄った割合は43.9%で、後樂園、岡山城、倉敷美観地区に訪れた方の割合が高かった。

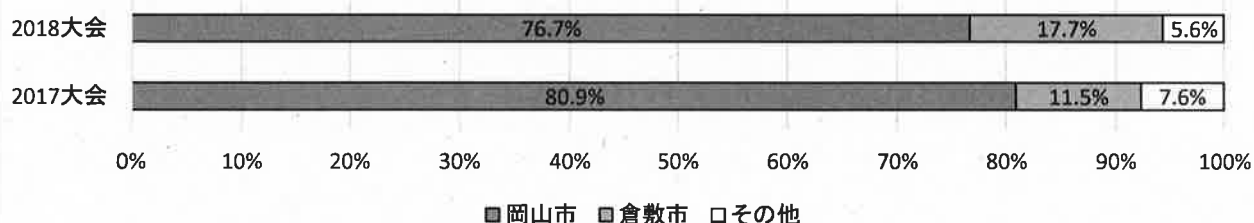
宿泊(県外参加者のみ)



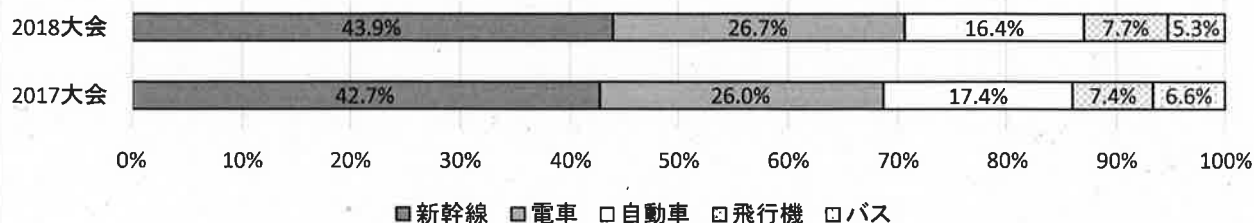
宿泊数(県外参加者のみ)



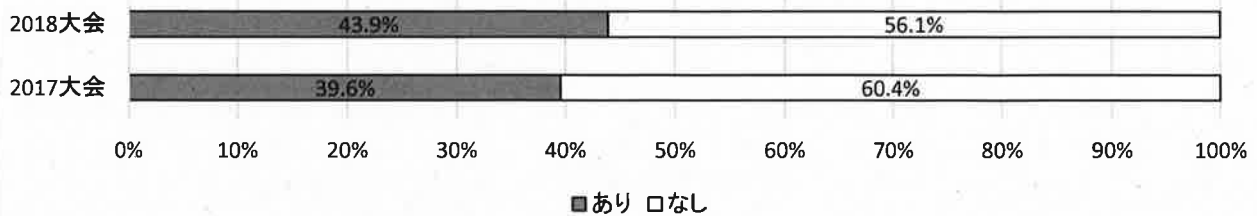
宿泊地(県外参加者のみ)



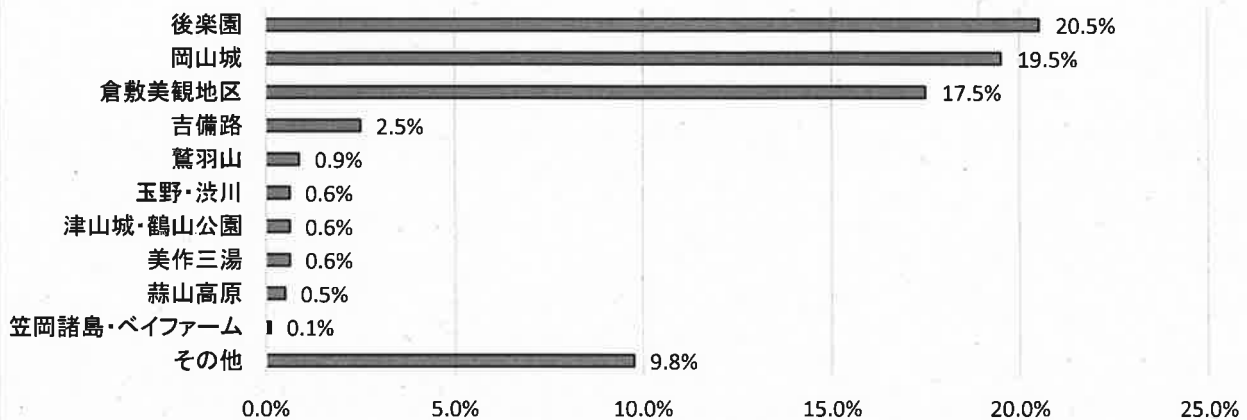
主な交通手段(県外参加者のみ)



立寄り観光施設の有無(県外参加者のみ)



県外参加者の立寄り観光地(県外参加者全体に占める割合)



エ ランナーの主な感想・意見

- ・ 受付の動線がシンプルになってスムーズだった。
- ・ 主会場のトイレが昨年に比べて大幅に増えていた。
- ・ 参加賞Tシャツの引換え場所やシャトルバス乗り場の位置にアドバルーンが上っていて分かりやすかった。
- ・ ゼッケンに都道府県名があったおかげで、多くの人に声をかけてもらえた。
- ・ 給食で岡山らしいものが多くあり、感動した。
- ・ 千両なすの漬物がとてもおいしかった。シャインマスカットは食べやすく、水分・糖分補給もできて素晴らしい。
- ・ 完走応援隊が励ましてくれて、ゴールすることができた。
- ・ 備前焼と真田紐のメダルは魅力的で、あれが欲しくて頑張ろうと思える。
- ・ ご当地グルメエリアが芝生広場に移り、昨年よりEXPO会場の混雑が解消されていて良かった。
- ・ 沿道の応援やボランティアの方々の笑顔、対応が素晴らしかった。
- ・ 昨年よりコース序盤の混雑が解消されていたが、もっとスムーズに走れるとありがたい。

② ボランティア

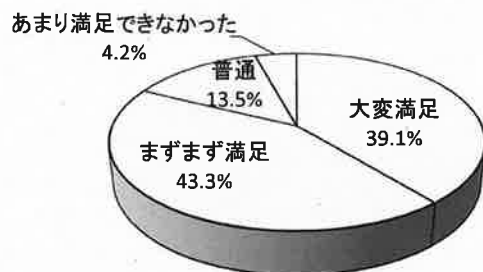
ア ボランティアの評価

活動内容について、約 8 割の方から「大変満足」、「まずまず満足」との評価をいただいた。

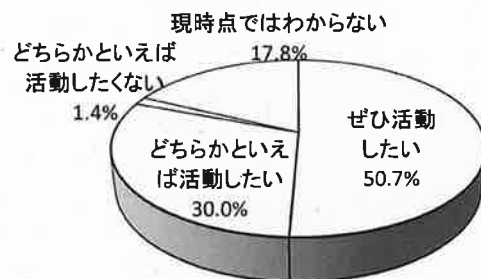
来年度以降の活動についても約 8 割の方から「ぜひ活動したい」、「どちらかといえば活動したい」と回答をいただいた。

活動時間について、約 2 割の方からは「非常に長かった」、「やや長かった」、また、休憩について、約 1 割の方から「とれずにつらかった」、「とれたが不十分」と回答をいただいた。

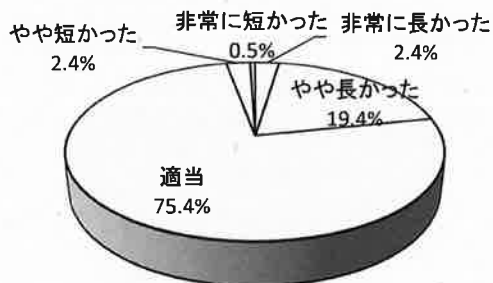
活動内容に満足したか



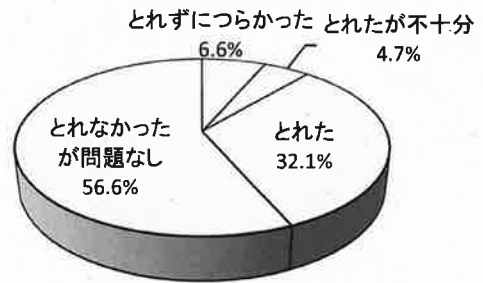
来年度以降も活動したいか



活動時間は適当だったか



休憩はとれたか



イ ボランティアの主な感想・意見

- ・ マニュアルがしっかりしていて、とても分かりやすかった。
- ・ 大勢のランナーと出会い、楽しい時間を過ごすことができた。
- ・ 観客の方もマナーがよく、スムーズに活動できた。
- ・ 班長や職員の方が丁寧に対応してくれて、ありがたかった。
- ・ 大会を支え続けているボランティアの労に報いる企画を考えてほしい。

③ 応援者

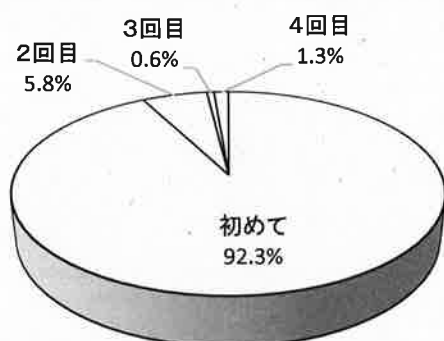
◇応援者の主な感想・意見

- ・懸命に走っているランナーの姿に感動した。
- ・隣同士で声をかけ合うなど、応援する側も一体感があつた。
- ・ランナーでなくてもEXPOなどで楽しめた。
- ・元気がみなぎる良い大会だった。この元気が復興への原動力になる気がする。

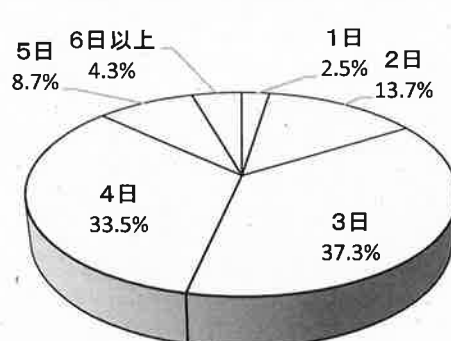
(4) 海外ランナーへのアンケート結果

海外ランナーを対象として、大会前日の受付時に、立寄り観光地など行動予定に関するアンケートを配布し、163人から回答を得た。

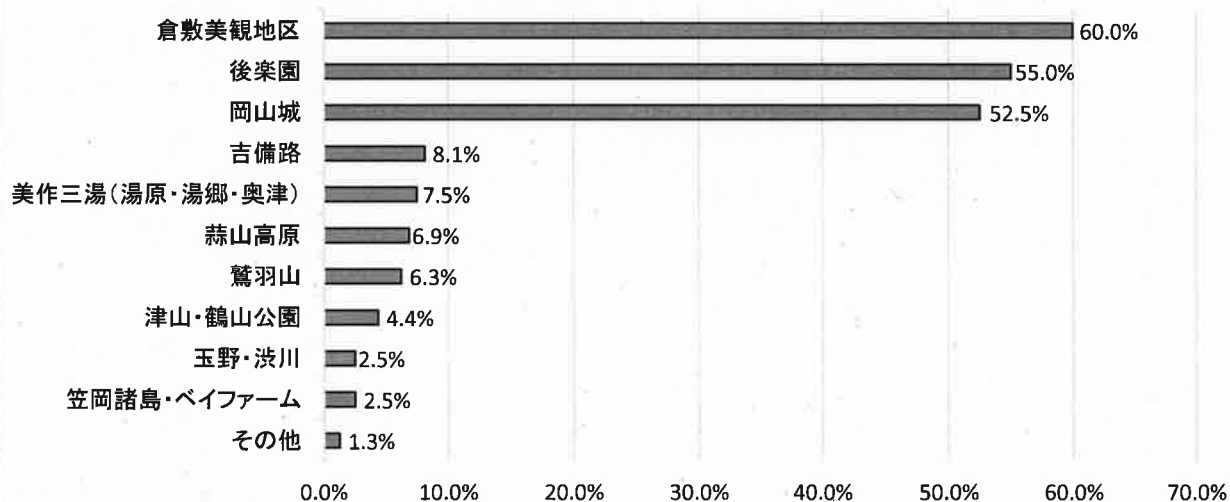
おかやまマラソンへの参加回数



岡山県での滞在日数



海外ランナーの立寄り観光地(海外ランナー全体に占める割合)



3 経済波及効果

アンケート調査において実施した消費支出額調査等をもとに、2018 大会の経済波及効果を推計した。

(1) 経済波及効果額

15.8 億円	直接効果 10.4 億円
	1 次波及効果 3.0 億円
	2 次波及効果 2.4 億円

※ 直接効果：新たに発生した消費等によって県内産業部門に直接に誘発された生産額

第1次波及効果：直接効果に伴う原材料等の購入によって県内各産業に誘発された生産額

第2次波及効果：直接効果と第1次波及効果を通じて発生した雇用者所得のうち、新たに消費として支出される消費支出の増加によって誘発された生産額

なお、交通規制によるコース沿道店舗等の休業対応や、売上減などによるマイナスの効果は考慮していない。

(2) 基礎データ

ア 大会参加人数

区 分	人 数	備 考
県内ランナー・同伴者	14,807 人	ランナー 9,806 人、同伴者 5,001 人
県外ランナー・同伴者	9,916 人	ランナー 6,567 人、同伴者 3,349 人
海外ランナー・同伴者	572 人	ランナー 174 人、同伴者 398 人
一般応援(E X P O 参加)	99,000 人	
一般応援(E X P O 不参加)	164,000 人	
ボランティア	4,886 人	延べ 5,201 人
合 計	293,181 人	

イ 参加者区分ごとの一人あたり平均消費支出額

区 分	消費支出額
県内ランナー・同伴者	4,744 円
県外ランナー・同伴者	23,624 円
海外ランナー・同伴者	46,657 円
一般応援(E X P O 参加)	3,609 円
一般応援(E X P O 不参加)	989 円
ボランティア	1,005 円

※消費支出額：交通費、宿泊費、飲食費、土産・買物代、入場料等の合計額

※県内ランナーのランニング用品等消費支出額 一人あたり 25,200 円(年額)

(3) 平成31年度中国地区スポーツ推進委員研修会について

中国5県のスポーツ推進委員が、資質の向上と相互の情報交換を図るため一堂に集い、それぞれの地域におけるスポーツ実践活動及び研究の成果をもとに研究協議や実技研修を行い、生涯スポーツの推進に資する。

記

1 日 時 平成31(2019)年6月22日(土)～23日(日)

2 会 場 全 体 会：ベルフォーレ津山（アルネ津山7階）
情報交換会：津山鶴山ホテル
実 技 研 修：岡山県津山総合体育館、岡山県津山東体育館、岡山県美作高校体育館

3 日 程（予定）

◇1日目（6月22日（土））

【全体会】（ベルフォーレ津山）

12:30～12:50 アトラクション

13:00～13:30 開会式

13:30～13:50 表彰式

14:00～15:30 基調講演

（一財）日本ペップトーク普及協会 代表理事 岩崎 由純 氏

15:45～16:50 実践発表

発表者：岡山県、山口県、島根県の推進委員

コーディネーター：川崎医療福祉大学 教授 米谷 正造 氏

【情報交換会】（津山鶴山ホテル）

18:30～20:30 情報交換会

◇2日目（6月23日（日））

【実技研修】（津山総合体育館、津山東体育館、県立美作高校体育館）

9:00～ 9:10 開会行事

9:30～11:30 実技研修（ピククルボール、リズムジャンプ、ほおるんビンゴ、
ダ・ビンゴ）

11:45～11:55 閉会行事

4 主 催 公益社団法人全国スポーツ推進委員連合、中国地区スポーツ推進委員協議会、岡山県スポーツ推進委員協議会

5 参加者 中国5県スポーツ推進委員等 約800人